

管内の課題として…

授業

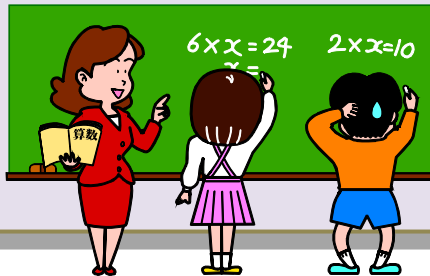
- 一部の授業に、次のような課題が見受けられます。
  - ・教師の説明が一方的なものになっている。
  - ・板書が構造的でないなど分かりづらい。
  - ・ノート指導に不十分な点が見られる。
  - ・学習した内容の定着のための手立てに不十分な点が見られる。
- 授業公開や授業後の研究協議が不十分な校内研修が見られます。

学び直し

- 全国学力・学習状況調査の過去の問題を活用していない傾向が見られます。
- 既習事項を復習する機会が少ない傾向が見られます。

家庭学習

- 平日に家庭学習を1時間以上している子どもの割合は、小6で約4割、中3で約6割と道より低い傾向が見られます。
- 自分で計画を立てて家庭学習をしている子どもの割合は、小中共に約4割と道より低い傾向が見られます。



授業

1

展開段階に考えを伝え合う場を位置付けます！

- ・自分の考えをもたせるための「考える時間」の保障
- ・互いの考えを説明し合う活動や話し合う活動の位置付け
- 【参考】「オホーツク学力向上サポートプラン『授業改善の葉』」(林-ツ教育局) P6-P65

2

分かりやすい板書とノート指導の充実を図ります！

- ・学習のねらいと考えた道筋が分かり、子どもの理解や思考を助ける板書の工夫
- ・課題や自分の考えなどが記述でき、学習の足跡が一目で分かるノート指導の工夫
- 【参考】「オホーツク学力向上サポートプラン」(網走教育局) P12-P17

3

終末段階で学習内容の定着を図ります！

- ・本時の課題に対する「まとめ」の板書
- ・学習した内容を確認するための練習問題の位置付け
- 【参考】「平成23年度小(中)学校教育課程編成の手引」(道教委) 小P85・中P84

4

授業研究を中核に据えた校内研修の活性化を図ります！

- ・研究仮説により課題を焦点化した研究授業の実施
- ・積極的な授業公開。公開授業に基づく研究協議の実施
- 【参考】「オホーツク学力向上サポートプラン『授業研究の葉』」(網走教育局) P1-P49

学び直し

5

「チャレンジテスト」「まなぼう」を活用します！

- ・「チャレンジテスト」「まなぼう」を活用した学び直しの機会の設定
- ・チャレンジテスト「トライやるウィーク」への参加
- 【参考】「道教委Webページ」(林-ツ教育局Webページにリンクあり)

6

「補充的な学習サポート」を計画的に行います！

- ・放課後における「補充的な学習サポート」の定期的な実施
- ・長期休業中における「補充的な学習サポート」の複数回実施
- 【参考】「確かな学びをはぐくむ実践ポイント集」(道教委・平成21年3月発行) P6・P10

家庭学習

7

「家庭学習」の取組を推進し、学習習慣を確立します！

- ・復習を取り入れた家庭学習の習慣化
- ・授業と家庭学習の関連を図った学習習慣の確立
- 【参考】「確かな学びをはぐくむ実践ポイント集」(道教委・平成21年3月発行) P8

8

「家庭学習の手引」を作成し活用します！

- ・子どもの発達の段階を考慮した「家庭学習の手引」の作成
- ・「家庭学習の手引」を活用した学習方法の子どもや保護者への説明
- 【参考】「オホーツク学力向上サポートプラン『授業研究の葉』」(網走教育局) P51-P58